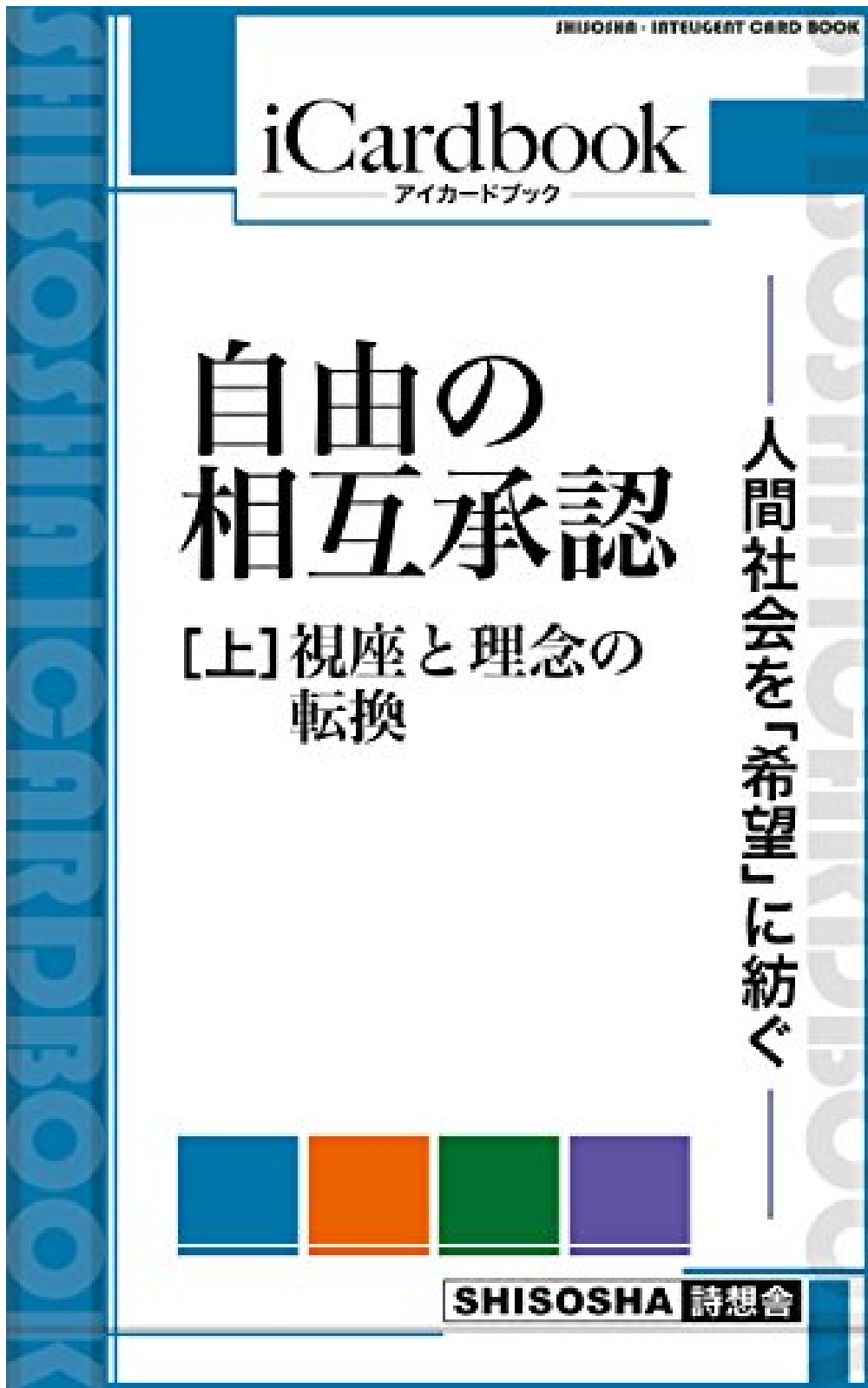


自由の相互承認 —— 人間社会を「希望」に紡ぐ ——
(上) 現状変革の哲学原理 (iCardbook)



発売日: 2017年3月25日

出版: 詩想舎

著者: 苫野 一徳

価格：

人気が出る（価値が認められる）につれ上昇していく、ペネトレイティングプライス方式を採用。

お早目のご購入がお得です。

スマホ最適化した、カード型専門書ebook：アイカードブック（iCardbook）
スマホから閲覧・読書：専用端末がなくても大丈夫。あらかじめアプリをダウンロードすることで、スマホ、タブレット、PCから読むことができます。

iCardbookとは:

- ・ アイカードブック（iCardbook）は百篇程度の「知識カード」を編成した、カード型専門書ebook。
- ・ [カードタイトル（カード番号）+ 百五十字前後の本文 + 参考文献（書籍、論文、Web記事他）+ 註] で構成された「知識カード」が、知のネットワークを可視化します。
- ・ スマホなどのモバイル端末から、隙間時間に専門書の「設計図」を閲覧できる。アイカードブック（iCardbook）はアクティブ・ラーナーのサポート・キットです。

作品紹介

西欧近代社会はいくつかの「革命」を体験し、そこから人間社会が保有しなければならない価値観の体系が構築された。しかしその構築物は二度の世界大戦とそこで起きた民主主義の危機で一敗地に塗れる。戦後幾多の知性はその修復をはかる企てに汗をかいたが、21世紀のいま、私たちの社会はなお混迷の中にある。

苫野は「自由」を旗印にいまいちど社会を組み立て直せ、そうしてはじめて社会は「希望」に紡ぎ直せるのだと主張する。「自由」などという手垢にまみれた、あるいは古色蒼然とした概念にどんな力があるというのだ。そう反論する趨勢に対し彼はいうだろう。ヘーゲルが掲げた「自由の相互承認」こそ人間社会構築の根本原理なのだ、と。

苫野 一徳（とまの いっとく）

一九八〇年二月二十八日、兵庫県生まれ。熊本大学教育学部准教授（二〇一七年二月現在）。

専門は哲学、教育学。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（教育学）。生涯の研究テーマは「多様で異質な人たちが、どうすれば互いに了解し承認しあうことができるか」。

またこれまでの研究の具体化として、これからの公教育の、モデルになれるような学校を目指し、二〇二〇年四月の開校を目指すプロジェクト推進団体、一般財団法人軽井沢風越学園設立準備財団の発起人の一人にもなっている。

著書：『「自由」はいかに可能か—社会構想のための哲学』（NHKブックス）、『教育の力』（講談社現代新書）、『どのような教育が「よい」教育か』（講談社選書メチエ）、『子ども頃から哲学者』（大和書房）など。

<https://k2s.cc/file/3673db1b13bcc/frLmkueek.pdf.rar>